

スポーツ少年団指導者資格の取扱いについて(事務マニュアル)

<「スポーツ少年団認定員」・「スポーツリーダー等公認スポーツ指導者」資格>

Q. 「スポーツ少年団認定員(以下「認定員」という。)」資格取得者がスポーツ少年団の指導者または役職員登録を継続せずに、資格を喪失した場合、「スポーツリーダー」資格も喪失するのか?

A. 「スポーツリーダー」は日本体育協会公認スポーツ指導者資格であり、同制度上、永年有効の資格のため、「認定員」の資格が喪失しても「スポーツリーダー」資格は失効しません。

Q. スポーツ少年団登録を継続せずに「認定員」資格を喪失した指導者が、再度、スポーツ少年団に登録した場合、「認定員」資格は復活できるのか?

A. 「日本スポーツ少年団指導者制度」では、資格の復活について規定しておりません。
ただし、「認定員」資格の復活については、資格喪失に至った事情、現在の活動状況等を考慮し、都道府県スポーツ少年団において審査、判断してください。

Q. 「認定員」資格を復活した場合の認定番号は、どうなるのか?
また、日本スポーツ少年団への報告は必要なのか?

A. 以前の認定番号を使用するものとします。
ただし、管理上支障がある場合は、新たな認定番号を付与しても構いません。
資格復活者については、「スポーツ少年団登録システム」への有資格指導者登録をもって報告としてください。

Q. 「スポーツリーダー」資格保有者に対する「認定員」資格の認定方法は?

A. 市区町村スポーツ少年団が推薦し、都道府県スポーツ少年団が承認した場合、「認定員」として認定できます。認定者の報告は、「スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会実施報告書」と併せて、日本スポーツ少年団に報告してください。
※ 「日本スポーツ少年団指導者制度」では、認定における講習等の条件は規定していませんが、都道府県の判断により一定の条件を付加することは問題ありません。

Q. 有資格指導者の複数配置が義務化されましたが、スポーツリーダー養成講習会兼認定員養成講習会の認定保留者(前年度講習会受講済み者)は有資格指導者として人数に含むのか?

A. はい、有資格指導者として数えていただいて構いません。

Q. 「スポーツリーダー」以外の公認スポーツ指導者資格保有者(競技別指導員・コーチ、ジュニアスポーツ指導員等)は、「スポーツリーダー」資格保有者と同様に「認定員」の資格を取得できるのか?

A. 平成 25 年 4 月 1 日から日本スポーツ少年団指導者制度が改定され、スポーツドクター及びスポーツデンティストを除く日本体育協会公認スポーツ指導者は、市区町村スポーツ少年団からの推薦、都道府県スポーツ少年団の承認を受ければ、「スポーツリーダー」資格保有者と同様に「認定員」資格を取得することができます。

<「スポーツ少年団認定育成員」資格>

Q. 「スポーツ少年団認定育成員(以下、「認定育成員」という。)」資格取得に際しての日本スポーツ少年団への推薦条件は?

A. 以下の条件を全て満たし、都道府県スポーツ少年団から日本スポーツ少年団へ推薦された指導者です。

- ① 公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者資格を有している者(スポーツリーダーを除く)
- ② 推薦時にスポーツ少年団に指導者登録している者
- ③ 「認定育成員」として活動が期待される者

推薦にあたり、都道府県スポーツ少年団の判断で、上記以外の推薦条件を付加することは問題ありません。

Q. 都道府県スポーツ少年団から日本スポーツ少年団への「認定育成員」推薦の申請時期はいつか?

A. 随時受け付けています(申請から認定までの期間・・・2ヶ月程度)。

Q. 推薦には、どんな書類が必要か?

A. 事務担当者会議にてお示しした資格認定推薦書が必要です。

※ 推薦対象者で、サッカーの指導者資格を保有している場合は、日本サッカー協会発行の「公認指導者ライセンス認定証(写)」を添付。

Q. 「認定育成員」の資格を一度喪失した場合、復活できないのか?

A. 「日本スポーツ少年団指導者制度」では、資格の復活について規定しておりません。

ただし、資格喪失に至った事情等を考慮し、現在の活動内容から都道府県スポーツ少年団が「認定育成員」としての活動が必要だと判断した場合、都道府県スポーツ少年団本部長名により復活申請を行うことができます。

復活申請があった場合、喪失理由・現在の活動状況などの申請内容を日本スポーツ少年団指導育成部会にて審査します。承認後、以下の条件を満たせば資格が復活されます。

- ① スポーツ少年団の指導者または役職員登録を継続せず、資格を喪失した場合
⇒復活申請のあった当該年度の登録を行っている
- ② 「認定育成員研修会」に参加せずに、有効期限切れで資格を喪失した場合
⇒復活申請のあった年度の「認定育成員研修会」へ参加し・修了している
- ③ 「公認スポーツ指導者」の資格を喪失(有効期限切)で資格を喪失した場合
⇒「公認スポーツ指導者」の資格が復活している

※ 資格を復活した場合の有効期限は、原則として喪失期間も含め前回資格有効期限から4年間とします(資格喪失により、有効期限の延長は行いません)。

※ 復活申請の書類用紙については、日本スポーツ少年団にお問い合わせください。

Q. 「公認スポーツ指導者」資格を喪失して、「認定育成員」資格を喪失した場合、新たに別種の「公認スポーツ指導者」資格を取得すれば「認定育成員」資格は取得できるのか?

A. 新規の「認定育成員」資格取得者と同様の推薦条件及び手続きにより、「認定育成員」資格を取得することができます。ただし、以前の資格の喪失理由を明記してください。

日本スポーツ少年団指導者制度(抜粋)

(3) 資格の認定

① 認定員

認定員養成講習会を修了した指導者および下記により承認された指導者に対しては、都道府県スポーツ少年団が日本スポーツ少年団の名において「スポーツ少年団認定員」として認定し、認定証、認定員章、指導必携書を交付するとともに、公益財団法人日本体育協会公認「スポーツリーダー」資格を付与する。

なお、シニア・リーダー認定者でその後も引き続き活動を継続した者、または、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者資格を有する者(スポーツドクター、スポーツデンティストを除く)のうち、日本スポーツ少年団に指導者登録を行い、市区町村スポーツ少年団が推薦し、都道府県スポーツ少年団が承認した者に対しては「スポーツ少年団認定員」として認定することができる。

② 認定育成員

所定の講習会を修了し、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者資格を取得したスポーツ少年団指導者のうち、都道府県スポーツ少年団より推薦のあった者に対しては、日本スポーツ少年団が「スポーツ少年団認定育成員」として認定し、認定証、認定育成員章、指導必携書を交付する。

(4) 認定の期間

① 認定員

所定の講習会を修了した日から年度末日までとする。ただし、認定を受けた者が毎年引き続き登録を行っている限り有効とする。

② 認定育成員

資格の認定を受けた日から4年間とし、4年ごとに更新する。更新にあたっては、日本スポーツ少年団が実施する「認定育成員研修会」に参加しなければならない。

(5) 資格の停止および取消し

1) 公益財団法人日本体育協会倫理規程第4条に違反する行為が明らかとなり、別に定める基準に基づく「活動停止」処分となったときは、同一期間、資格を停止する。

2) 以下のいずれかに該当した場合は、資格を取り消す。

① スポーツ少年団登録を行わなかったとき。

② 公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者の資格を喪失したとき。

③ 日本スポーツ少年団が実施する「認定育成員研修会」に参加しなかったとき。

④ 公益財団法人日本体育協会倫理規程第4条に違反する行為が明らかとなり、別に定める基準に基づく「登録取消し」処分となったとき。

⑤ 理由なく与えられた任務を果たさなかったとき。